

【大会案内】



第38回 全国仏教保育茨城大会

みんな幸せ ほとけの子

～いのちと心をつなぐ保育の力～

令和8年8月26日(水)・27日(木)

つくば国際会議場 (茨城県つくば市竹園2-20-3)



ネモフィラのお話

一面に広がる、
澄んだ青空のような花。
それは、いのちをつなぐ
優しさのしるし。



主催 公益社団法人 日本仏教保育協会
実施 第38回全国仏教保育茨城大会実行委員会

大会基調

〈大会テーマ〉

みんな幸せほとけの子 ～いのちと心をつなぐ保育の力～

私たち仏教保育に携わる者は、「すべての子どもはほとけの子」という教えを大切にしながら、幼い子どもたちのいのちと心に寄り添い、その成長を見守り、支えるという尊い使命を担ってきました。令和のいま、社会は大きく揺れ動き、多様化・情報化が進むとともに、家庭や地域のつながりも変化し続けています。気候変動に起因する災害や感染症など、予測のつかない出来事が日常を脅かす場面も増え、子どもたちが安心して育つための基盤が揺らぎやすくなっている現実があります。だからこそ私たちは、“子どものいのちと心をどう守り、育てていくか”という保育の原点に、いま改めて立ち返る必要があります。

仏教保育が大切にしてきた「いのちは尊い」「一人ひとりかけがえのない存在である」という教えは、時代の変化の中であってなお揺るぎない道しるべです。子どもを“ほとけの子”として尊重し、その存在を無条件に受け入れる姿勢を礎とすることで、子どもたちが安心し、信頼し、自己を肯定できる環境が生まれます。その根底には、他者を思いやり、いのちを敬い、共に生きる力を育むという仏教的な願いが脈々と息づいています。

本大会テーマ「みんな幸せほとけの子～いのちと心をつなぐ保育の力～」には、こうした原点を共有し合い、いまを生きる子どもたちに必要な保育とは何かを、僧侶・保育者・関係者が共に考え深めていきたいという思いが込められています。保育とは、日々の積み重ねの中で子どもの心を育み、いのちの営みを支える行いです。ほとけの心を土台にした「見る・聴く・寄り添う」姿勢を改めて学び、確認し合うことこそ、私たちの務めといえます。

二日間の大会を通して、記念講演や分科会、対話の機会を重ねながら、子どもたちのいのちはどう向き合うか、心をどう育てていくか、そして保育者自身はいかにあるべきかを、参加者全員で深めてまいりましょう。全国の仏教保育の仲間と再び心をつなぎ、経験を分かち合い、支え合うことは、私たち自身の励ましにもなるはずです。

本大会が、子どもたちの幸せを願う私たち一人ひとりの思いを確かにし、仏教保育の未来をともに切り開く大きな一歩となることを願い、大会基調といたします。





第38回全国仏教保育茨城大会

実行委員長 **橋本 幸雄**

近年、全国各地で自然災害が頻発し、特に最近では地震も多く、日々の暮らしの中で不安を感じる場面が増えております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く穏やかな日常が戻りますことをお祈り申し上げます。

さて、第38回全国仏教保育茨城大会が、令和8年8月26日(水)・27日(木)の二日間、つくば市にて開催される運びとなりました。本大会のテーマは「みんな幸せ ほとけの子」、サブテーマを「いのちと心をつなぐ保育の力」と掲げております。

社会は急速に変化し続けております。デジタル化の進展やAIの普及、価値観の多様化が進む一方で、人と人とのつながりの希薄さや、子どもたちを取り巻く環境の変化に戸惑いを感じる場面も少なくありません。さらに、予測の難しい自然災害や社会情勢の中で、子どもたちの安心や心の安定をどのように守り育てていくのか、私たち保育者に問われているものはますます大きくなっているように感じます。

仏教では、すべてのいのちはかけがえない存在であり、互いに支え合いながら生きていることが説かれています。お釈迦さまが示された智慧と慈悲の教えは、まさに現代においてこそ大切にすべき指針であり、子どもたち一人ひとりのいのちと向き合う私たちの保育の根幹でもあります。

本大会では、日々の保育の実践を見つめ直しながら、全国の仲間とともに学び、語り合い、これからの仏教保育のあり方を考える機会となることを願っております。子どもたちが安心して生き、健やかに育つ未来に向けて、いのちと心をつなぐ保育の力をあらためて確認し合える二日間となれば幸いです。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

合掌

「AI 共生時代にこそ必要となるヒトの育ちと環境を考える—脳科学からの提言」



京都大学大学院教育学研究科 教授

明和 政子 氏

生成 AI に代表される近年の情報科学技術の進展は言うに及ばず目覚ましく、私たちを取り巻く環境の(ヒトにとっての)利便化、省力化が加速しています。近年では、そうした技術が、ヒトの身体機能、さらには脳やこころ、その存在の拡張にまで応用されようとしています(人間拡張 Human Augmentation)。スマホを常時持ち歩くのは面倒ならば身体から離さないようにすればいい、ならば AI チップを脳に埋め込めばいい。こ

うした SF のような世界が今や現実のものとなりつつあります。苦しみの感情やストレスは脳を操作して消してしまえばいい、身体の部品を再生し、取り換えることで不死の存在になる。人類は「全能の神」になろうとしているようにさえ映ります。

こうした時代を迎えた今、ヒトという生物の育ち、そして学びの本質が改めて問われているように感じます。AI の活用が日常の当たり前になり、子どもたちもデジタル空間での学びが推奨されるようになりました。解がすでにある問い(学力)は、自ら考えたり、記憶せずとも、AI に任せられる認知作業となっています。

他方、AI を脳に接続させる拡張技術では、機能強化が難しい側面があります。それは、私たちがもつ身体によって自己や他者、物理世界を感じることで価値づけたり、意思決定したりする「知性」の側面です。AI に代表される「知能」は、目標指向型の情報処理です。それは意識を前提としません。植物も細菌も知能をもちます。他方、知性はヒトらしい心的機能の根幹です。「人類の持続的発展」や「人間中心の社会」を目指すためには、「知性」をいかに育むことができるかがきわめて重要な課題となるのです。

こどもの脳は、大人の脳の単なる小型・ミニチュア版ではなく、まったく異なる存在です。環境の影響を強く受けながら、個人が生涯もつことになる脳や腸をまさに形成している最中(感受性期)にある存在なのです。人間拡張時代に生きていく次世代の知性を、感受性期にいかに集中的、効果的に育むことができるか。これは、人類の持続的発展を大きく左右する課題であることは間違いありません。こども期には、身体の外側にある環境のみならず、身体の内側にある環境も社会が守る必要がある。これは、こども期だけでなく生涯にわたる心身の健康を守ることであります。

「今・ここ」を生きている大人の価値観、欲望のままに子どもたちが育つ環境を変えることはホモ・サピエンスの未来を左右することにもつながりうるのです。20 万年前から変わることのない脳や身体をもつヒトの知性を現代でいかに育むことができるか。本講演が、そうした議論の火付け役、羅針盤となれば幸いです。

アトラクション

「みんなでうたって あそぼう♪福田 翔コンサート」



ソングブックカフェ あそびうた作家

福田 翔氏

保育士の頃に子どもたちと遊ぶ中であそびうたを作り始め、8年の勤務後、2014年よりあそびうた作家として活動を開始。

保育園、幼稚園、児童館などで、子ども向け、親子向けのあそびうたコンサートや 保育士・児童館の先生向けの講習会等を行っている。

2017年度より、雑誌「新 幼児と保育」(小学館)にて、連載「翔くんのあそびうたキャラバン」がスタート。

2017年、ぐんまこどもの国児童会館のマスコットキャラクター「にこっとちゃん」のイメージソングを制作。

2018年、イオンファンタジーのマスコットキャラクター「ララちゃん」のオリジナルあそび歌「モーリーファンタジーへようこそ」、「おかあさんといっしょ」(NHKEテレ)2月の月の歌「おはよう！」の作詞作曲を手掛ける。

分科会テーマと研究課題

第1分科会

いのち「輝く」

◀ テーマ

子どものいのちと心を守る保育 ～保育者の選択から「生命尊重」を考える～

講 師 塩 美佐枝 先生 / 聖徳大学三田幼稚園園長・聖徳大学教職大学院教授

本分科会では、映画『あの日のオルガン』を教材として扱い、戦時下において保育者が子どものいのちと日常を守ろうとした実践を通して、現代の私たちが向き合うべき「生命尊重」のあり方を学ぶことを目的としています。物資も情報も乏しい中で、若い保母たちが自ら判断し、子どもの生活・心・安心を守ろうとする姿は、危機や変化の多い現代社会における保育者の専門性と深く重なります。

また、子どものいのちは“身体としてのいのち”だけでなく、心の安定・関係性・日常のリズムといった、目には見えにくい領域によって支えられていることを映画は力強く示しています。

本研修では、映画を手がかりに、保育を改めて見つめ直し、それぞれの園で「いのちを守る保育」をどのように実践していくかを深めていきたいと考えています。

第2分科会

いのち「つなぐ」

◀ テーマ

幼児期における食のとても大切なお話

講 師 根本 悦子 先生 / クッキングスクール ネモト 主宰

時代の移り変わりと共に食事情も随分と様変わりしました。令和の時代は、コロナ禍を経て、予測できないような社会情勢やSNS・AIの普及、SDG S運動などの観点から、私たちを取り巻く食の環境は、目まぐるしい変化を遂げています。時代にあった対応力は大切ですが、そのことばかりに目を向け、かつての食の教えをおろそかにしてしまうと、この先の未来は日本古来の食文化という宝が失われ、世界に誇れる和食の伝統的な食文化というユネスコ無形文化遺産も過去のものになってしまう危機感があります。農林水産省の食文化伝承について意識調査したところ、地域や家庭間で受け継ぎ伝承されている割合が、約4割にとどまっており、食に関する時間共有が減り、食への意識・関心は低下し、画一化された食の利便性だけを求めてしまいます。

理想的な日本型食生活とは、歴史的背景と先代が築き上げてきた食形態により、その恩恵を受けて世界長寿国の献立になりました。これは、ご飯を主食とし、主菜・副菜に適度な乳製品・卵・果物が加わった内容です。米を中心とした食生活を送ることで、醤油・みそ・だしなどの発酵文化が発展し、農業・漁業・畜産業などを支える自然循環型が成り立ち、食料自給率も支えることになります。食とは、このような様々な成り立ちを理解し、食についての教育を行うことこそが真の食育であると思います。特に幼児期に受ける食の教育は五感（視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚）の経験値があるほど、人間の本能かつ人格形成においての礎になります。食を通した感謝の念と豊かな心と身体の健全なる育成のためにお話しさせて頂ければと思います。

第3分科会

いのち「育む」

テーマ

子どもに生きる力を

講師 榎本 博明 先生 / MP 人間科学研究所代表・心理学博士

引きこもりやニート、そこまででなくても友だち関係で悩む若者の増加を考えると、人とのかかわる力を幼い頃から育てていくことが大切である。

また、本を読めない若者や人の話を理解できない若者、傷つきやすく心が折れやすい若者の増加を考えると、認知能力や非認知能力を幼い頃から育てていくことが必要である。

そこで、生きる力の基本となる人間関係力や認知能力・非認知能力について解説することにした。

第4分科会

いのち「向き合う」

テーマ

人の心に寄り添う御仏の教え ～自分の心を見つめてみよう～

講師 駒井 信勝 先生 / 仏教学博士・大正大学非常勤講師

本大会の全体テーマ「みんな幸せほとけの子～いのちと心をつなぐ保育の力～」は、子どものいのちと心をどのように守り育てていくかという、保育の原点を問い直すものです。子どもの育ちは、制度や環境だけでなく、日々子どもと向き合う保育者一人ひとりの在り方に大きく支えられています。とりわけ、保育者の心の状態やまなざしは、子どもの安心感や育ちに深く関わる重要な要素です。しかし現代の保育現場では、業務の多忙さなどから、保育者自身が自らの心を顧みる機会を持ちにくい状況も少なくありません。そこで本分科会では、「人の心に寄り添う御仏の教え」を手がかりに、仏教の教えにふれながら保育者自身が自分の心を見つめ直し、子どもと向き合うための土台を整えることを目的とします。

分科会テーマと研究課題

第5分科会

いのち「支える」

◀ テーマ

特別支援の視点から見つめる命の育ち

講 師 水野 智美 先生 / 東京科学大学・リベラルアーツ研究教育院 教授

保育現場では、子ども達一人ひとりの発達の事情を捉えたねらいや、それらが達成される為の適切な支援、又、子どもの状況に応じた多様な関わりが重要な課題となっています。個々の幼児の特性を的確に把握し、保護者との相互理解を図ることや、専門機関との連携を取りながら、子どもの状況に応じた保育を実践していくことは、幼児の発達につながる、最も大切な取り組みになるのではないのでしょうか。近年、特別支援教育に関する研修会では、保育者が、その専門性を学ぶ機会も多くなりましたが、実際の保育の現場では、特別な支援を必要とする子ども達やその保護者への支援のあり方に迷い、よりよい支援に確信が持てずにいる保育者も少なくないことでしょう。そこで本分科会では、今一度、特別支援教育に関わる基礎的な知識を深めると共に、その子の持てる力を高める為に、保育者は、一人ひとりの育ちをどのように支えるべきかを、改めて学びたいと思います。

第6分科会

いのち「守る」

◀ テーマ

命を守るための心と日常の備え

講 師 吉川 清信 先生 / NPO 法人茨城県防災士会

災害はいつ起こるかわかりません。まさか自分の園に降りかかるなんて誰も思うでしょう。災害に見舞われた時私たちはどんな行動ができたのでしょうか。

子どものいのちを守る行動とは何か。守るべきは子どもの命、保護者の保育者の命、生活……。仏教園であることで母体である寺が地域にとって役立った事例を併せて紹介します。

平成27(2015)年9月関東豪雨災害は鬼怒川の堤防の決壊を起こし、こども園は水害に巻き込まれました。「まさか自分の園が」現実になったときの備えは何か、保育者に何が出来るかを茨城県防災士協会の皆さんを招き参加者の皆さんと共に考える機会を設けました。

大会要項

〈大会テーマ〉 みんな幸せ ほとけの子

〈サブテーマ〉 ～いのちと心をつなぐ保育の力～

開催日：令和8年8月26日（水）・27日（木）

大会会場：つくば国際会議場

募集定員：400名

参加費：10,000円（2日間） 懇親会：10,000円

大会日程

8月26日（水）

12:00	受付
12:50	オープニング雅楽演奏
13:00	開会式
14:20	休憩
14:30	記念講演
16:00	休憩
16:20	アトラクション
17:00	閉会
18:00	懇親会

8月27日（木）

8:30	受付
9:00	分科会
12:00	閉会

① 大会参加のご案内

全体会

日 時：令和8年8月26日(水) 13:00～17:00
会 場：つくば国際会議場
所 在 地：茨城県つくば市竹園2丁目20-3
募 集 人 員：400名

分科会

日 時：令和8年8月27日(木) 9:00～12:00
会 場：つくば国際会議場
所 在 地：茨城県つくば市竹園2丁目20-3
募 集 人 員：各分科会 50～100名程度

参 加 費：お一人 10,000円(2日間)

※全体会・分科会参加費を含みます。

※1日目の全体会のみ、また2日目の分科会のみのご参加でも同額の10,000円です。

※懇親会費・宿泊費は別途ご案内いたします。

② 懇親会のご案内

日 時：令和8年8月26日(水) 18:00～20:30
会 場：ホテル日航つくば 本館3階「ジュピター」
所 在 地：茨城県つくば市吾妻1丁目1364-1
募 集 人 員：150名
参 加 費：お一人 10,000円(事前申込のみ) ※飲み放題付

③ お申込みから最終ご案内までの流れについて

参加申込受付は名鉄観光サービス(株)水戸支店が行います。

申込締切	→	振込期限	→	最終ご案内等 発送
7月31日(金)		8月7日(金)		8月上旬～

※上記スケジュールは状況により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

1. 申込方法

大会システム (Web) 又は FAX にて承ります。

Web 申込	下記 URL よりシステムにアクセスして、必要事項の入力いただきます。 請求書の発行などはすべてシステムから可能です。 URL : https://www.mwt-mice.com/events/38-bukkyohoiku	
FAX 申込	巻末の申込書に必要事項をご記入の上お申込みください。 ※申込書をコピー等にて控えの保管を必ずお願いいたします。 送付先：名鉄観光サービス(株)水戸支店 FAX：029-221-4510	

2. 申込締切

申込締め切りは、2026年7月31日(金)です。

Web 申込みの方は、申込み後請求書や参加券の発行が可能になります。

■ FAX でお申込みの方は申込書の受領日から5営業日以内(※)に受領したことをお知らせする案内を FAX にてお送りします。

上記期間を過ぎても案内が届かない場合は、通信障害等により受領できていない可能性がありますので、お手数ですが「名鉄観光サービス(株)水戸支店」までご連絡ください。

※申込書を受領した日の5日後(土、日、祝日を除く)の営業終了時間までを指します。
(営業時間 平日9:30～12:00、13:00～17:30 土・日・祝日を除く)

■お申込みの場合は送信確認をお願いします。(FAX 機の送信記録にてご確認ください)

3. 振込手続きについて

請求書に記載された指定口座へ、8月7日(金)までに振込み手続きをお済ませください。

※ FAX でお申込みの方は、後日請求書をメールにて送付いたします。

※なお、振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。

※大会当日に会場や宿泊先でお支払いいただくことは出来ません。

④ 宿泊のご案内

本大会の開催にあたり、皆様方のご宿泊施設を次の通りご用意しております。
FAXにてお申込み希望の方は、巻末の申込書へ申込記号を第二希望までご記入ください。

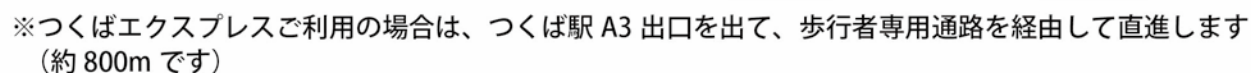
ご宿泊設定日：2026年8月25日(火)・8月26日(水)・8月27日(木)

- 1) お部屋タイプはシングル・ツインとなります。
- 2) 旅行(宿泊)代金はお一人様1泊朝食付き(サービス料、税込)となります。(無料朝食、軽朝食含む)
朝食が不要な場合でも払い戻しはいたしかねますので予めご了承ください。
- 3) 受付順(先着順)にてご用意いたします。
- 4) 最少催行人数：1名
- 5) 添乗員：同行いたしません。
- 6) 禁煙・喫煙は希望として承ります。ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。
- 7) 旅程表

1日目	ご自宅→(各自移動)→ご宿泊施設	朝×：昼×：タ×
2日目	終日 大会参加	朝○：昼×：タ×
3日目	終日 大会参加	朝○：昼×：タ×
4日目	ご宿泊施設→(各自移動)→ご自宅	朝○：昼×：タ×

	地区	申込記号	ホテル名	部屋タイプ	旅行代金 (税込)	つくば国際会議場までの アクセス
①	つくば	①-S	ホテル日航つくば (懇親会会場)	シングル	14,000 円	徒歩で約 10 分
		①-T		ツイン	9,000 円	
②	つくば	②-S	ホテル JAL シティつくば	シングル	12,500 円	徒歩で約 2 分
		②-T		ツイン	8,000 円	
③	つくば	③-S	ホテルグランド東雲	シングル	11,000 円	車で約 5 分 徒歩で約 15 分
		③-T		ツイン	9,000 円	
④	つくば	④	東横 INN 研究学園駅前	シングル	9,000 円	車で約 10 分
⑤	つくば	⑤	ホテルマークワンつくば研究学園	シングル	9,000 円	車で約 10 分
⑥	つくば	⑥	ホテルルートつくば	シングル	9,000 円	車で約 5 分 徒歩で約 20 分

①公共交通機関ご利用の場合

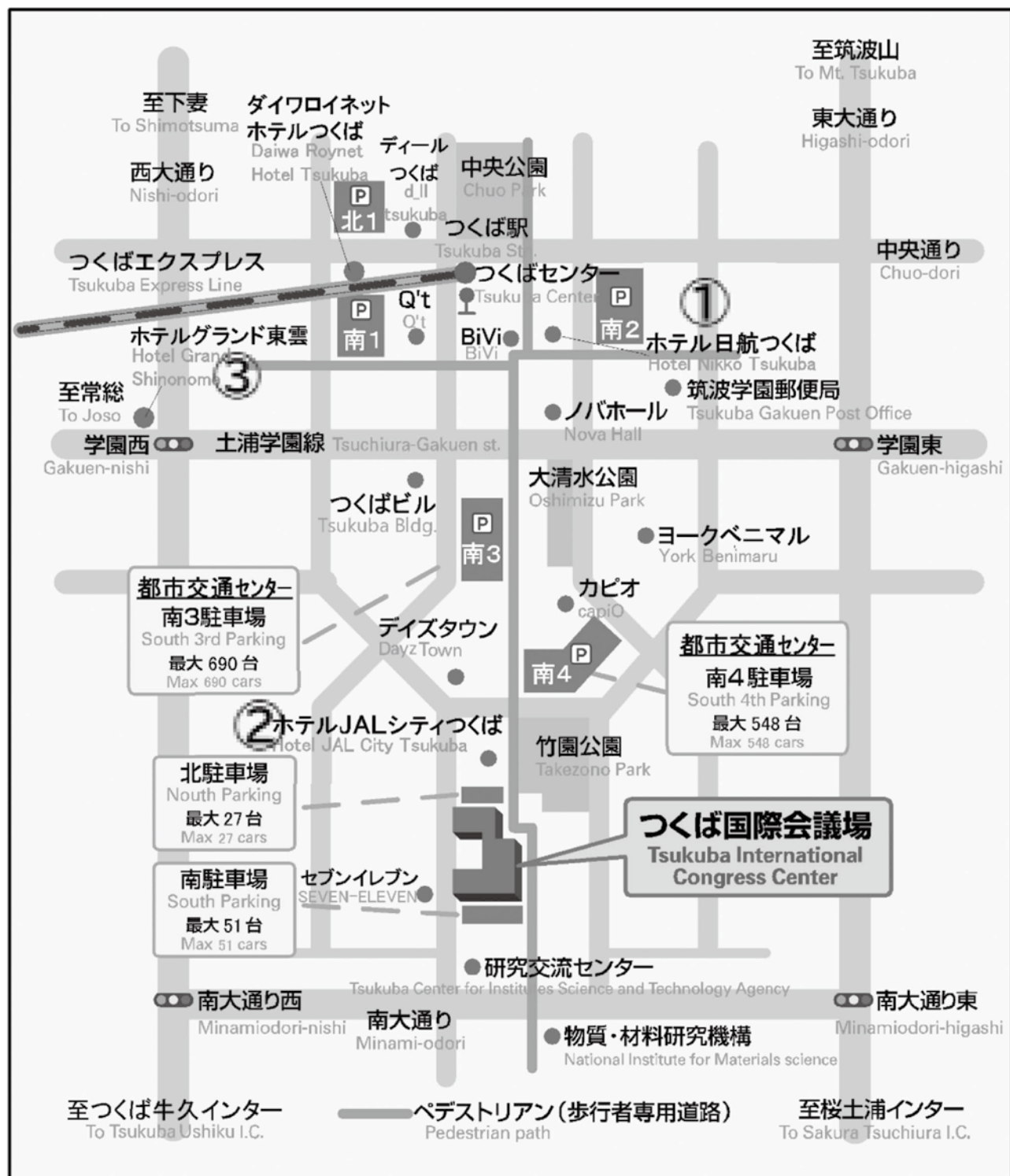


(広域マップ)



A detailed map of the area around the Tsukuba International Conference Center (つくば国際会議場). The map shows the center's location relative to the Tsukuba University Line (つくば学芸線) and the Arumagi Expressway (常磐自動車道). Key locations include the Tsukuba Station (つくば駅), the Tsukuba University Center (つくばセンター), and the Tsukuba University Station (つくば大学駅). The map also shows the surrounding roads, including the Arumagi Expressway (常磐自動車道) and the Tsukuba Expressway (つくばエクスプレス). The map is oriented with North at the top.

●ホテルマップ（つくば駅周辺）



⑥
ホテル
ルート
つくば→

●ホテルマップ（研究学園駅周辺）



⑤ お申込み後の変更・取消方法について

【Web 申込みの方】

★ Web 申込みの方は、ログインしていただき変更・取消手続きをお願いいたします。

【FAX でお申込みの方】

★申込書にご変更・取消事項をご記入の上、FAX にてお送りください。

※お電話での変更・取消はお受けしておりませんので、予めご了承ください。

⑥ 取消料について

【参加費】 ※旅行契約外

取消日	7月31日まで	8月1日以降
参加費	無料	100%

【懇親会】 ※旅行契約外

取消日	ご利用日の前日から起算して		前日	当日	無連絡および開始後
	3日前まで	2日前			
懇親会	無料	100%	100%	100%	100%

【宿泊】 ※募集型企画旅行契約

取消日	ご利用日の前日から起算して			前日	当日	無連絡および開始後
	21日前まで	20～8日前	7～2日前			
宿泊	無料	20%	30%	40%	50%	100%

※変更や取消によるご返金は、大会終了後になります。その際、所定の取消料や振込手数料を差し引いてご返金いたします。

⑦ ご旅行条件（要約）

この旅行は名鉄観光サービス(株)(以下「当社」といいます)が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することになります。この書面は旅行業法第12条の4に定める旅行取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部になります。契約の内容・条件およびその他詳細につきましては、当社店頭または名鉄観光ホームページ「<https://www.mwt.co.jp>」⇒サイト内検索⇒ご旅行条件書(国内・募集型企画旅行の部)にてご確認の上お申込みください。詳しい取引条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申込みください。

●申込みの方法と契約の時期

- (1)旅行のお申込みは所定の申込書にご記入の上、お申込みください。当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受理したときに契約が成立します。
- (2)旅行代金は「取消料」または「違約料」の一部または全部として取り扱います。
- (3)団体グループを構成する旅行者の代表としての契約責任者から旅行申込みがあった場合、契約の締結及び解除等に関する一切の代表権を契約責任者が有しているとみなします。

●旅行代金に含まれるもの

- (1)旅行日程に明示された交通費、宿泊費、食事代及び消費税等諸税
- (2)上記諸費用は、お客様のご都合により一部利用されなくても払戻はいたしません。

●旅行代金に含まれないもの

- (1)自宅から集合・解散場所までの交通費、宿泊費等。その他追加飲食等の個人的性質の諸費用。
- (2)任意の旅行傷害保険料。

●特別補償

お客様が募集型企画旅行中に急激かつ偶然な外来の事故によって身体または手荷物の上に被った一定の損害について、あらかじめ定める補償金及び見舞金を支払います。

●旅行保障

当社は当パンフレットに記載した契約内容のうち、当社旅行業約款(募集型企画旅行の部第29条別表左欄)に掲げる重要な変更が生じた場合は同条に定めるところによる変更補償金をお支払いいたします。

●基準日

この旅行条件は2026年1月1日現在の運賃・料金を基準としております。

●個人情報の取り扱いについて

お申込みの際にご提出いただいた個人情報については、お客様との連絡や、輸送・宿泊機関等の影響するサービスの手配及び受領の為の手続きに利用させて頂くほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者又は大会主催者に提供致します。それ以外の目的ではご提供頂く個人情報は利用いたしません。

※弊社の個人情報の取扱いに関する方針につきましては、弊社の店頭又はホームページでご覧ください。

名鉄観光サービス(株) ホームページ <https://www.mwt.co.jp>
→トップページ最下部の個人情報等保護方針をご参照ください。

⑧ お申込み・お問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 水戸支店

観光庁長官登録旅行業第55号・(一社)日本旅行業協会正会員・ボンド保証会員・旅行業公正取引協議会会員

〒310-0026 茨城県水戸市泉町2-2-33 水戸泉町ビル3階

総合旅行業務取扱管理者 結城 武文



旅行業公正取引
協議会 会員



旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。ご契約に関し担当者からのご説明に不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご質問ください。

TEL : 029-221-4528 FAX : 029-221-4510

【営業時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30 (月~金) 土・日・祝日は定休日】

e-mail : mito@mwt.co.jp

担当者 : 徳田

第 38 回全国仏教保育茨城大会 【参加・宿泊等申込書】

【開催日】 2026年8月26日(水)～27日(木) 【申込締切日】 2026年7月31日(金)
【申込先】 名鉄観光サービス株式会社水戸支店 【FAX】 029-221-4510

担当：「第38回全国仏教保育茨城大会」徳田 TEL：029-221-4528 e-mail：mito@mwt.co.jp

住所：〒310-0026 茨城県水戸市泉町2-2-33 水戸泉町ビル3階
営業時間：月～金 9:30～12:00、13:00～17:30(土・日・祝日は除く)

旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等への個人データの提供について同意のうえ、以下の旅行に申込みます。

都道府県	都・道 府・県	施設名	(フリガナ) 連絡ご担当者	申込日	2026 年	月	日
住所 (書類送付先)	〒 -		TEL				
			FAX	※お間違えのないようにご記入ください。			

変更・取消	変更	取消	No.	申込受領日	確認者
			当 社 記 入 欄		

No	フリガナ 氏 名	年齢 性別	所 属 ・ 役 職	大会参加 (10,000円)	懇親会 (10,000円)	宿 泊 (第2希望までご記入ください) ※2						分科会 (第3希望までご記入ください)			備 考	
						8/25(火)		8/26(水)		8/27(木)		8/27(木)				
						第1 希望	第2 希望	第1 希望	第2 希望	第1 希望	第2 希望	第1 希望	第2 希望	第3 希望		
記入例	イバラキ 茨城 太郎	45歳 (男)・女	仏保幼稚園・園長	○	○	1S	2S	1S	2S	1S	2S	喫煙 禁煙	1	2	3	
1		歳 男・女										喫煙 禁煙				
2		歳 男・女										喫煙 禁煙				
3		歳 男・女										喫煙 禁煙				
4		歳 男・女										喫煙 禁煙				

お申し込みについて

- 大会参加のみの場合でも、当申込書によりお申し込みください。
- 5名以上で参加される場合は、当申込書をコピーしてお申し込みください。
- お申し込み後の変更・取消につきましては、記入済み申込書控えを訂正の上、用紙右上の「変更・取消」欄に日付と該当する項目に○印をつけて、FAXにてご連絡ください。
※電話での変更・取消は受け付けておりませんので、予めご了承ください。
- 宿泊の予約は先着順とさせていただきます。ご希望に添えない場合もございますので、必ず第2希望までご記入願います。
- 懇親会の予約は先着順とさせていただきます。定員に達しましたらお断りする場合がございますので、ご了承ください。

注意事項

- 申込書の受領日から5営業日以内に受領したことをお知らせする案内をFAXにてお送りします。上記期日を過ぎても連絡がない場合は通信障害等により、受領できていない可能性がありますので、お手数ですが名鉄観光サービス㈱にたま支店までお問い合わせください。
- 宿泊のお申し込みについては、宿泊希望日にご希望ホテルの申込記号を第2希望までご記入ください。
喫煙・禁煙のご要望につきましては○印をご記入ください。ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。



38th Buddhist Childcare Conference Tsukuba Ibaraki 2026 8/26.27

大会の内容に関するお問い合わせ

第38回全国仏教保育茨城大会実行委員会

【事務局】住所：茨城県取手市白山 2-9-7 （認定こども園白山幼稚園内）

TEL：0297-73-2037（10時～16時） FAX：0297-73-2056

E-mail：ibabuppo2026@gmail.com

お申込方法やご精算のお問い合わせ・お申込先

名鉄観光サービス株式会社 水戸支店

〒310-0026 茨城県水戸市泉町 2-2-33 水戸泉町ビル 3 階

総合旅行業務取扱管理者 結城 武文

TEL：029-221-4528 FAX：029-221-4510

【営業時間 9：30～12：00、13：00～17：30（月～金） 土・日・祝日は定休日】

e-mail：mito@mwt.co.jp

担当者：徳田